

今季のスギ花粉情報（第1報）

身近な自然と診療メモ

(1/26/2023)

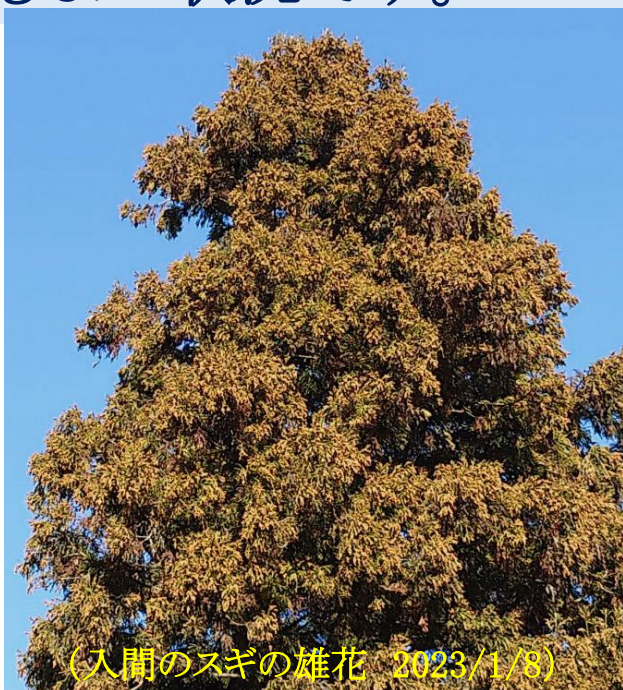
蔓延するコロナ感染症に加えA型インフルエンザが増えている日々で発熱者の診療に気がかりなこの頃です。例年通りスギ花粉症の時期となりました。入間のスギの雄花は昨年10月の時点で緑色の大量の着花がみられ、本年1月初旬スギ全体が茶色くなり雄花が大量に着花していました。1月25日今季最大の寒気でしたが、今後スギ花粉がいつ飛散してもよい状況です。



(入間のスギの雄花 2023/1/4)



(入間のスギの雄花 2022/10/12)



(入間のスギの雄花 2023/1/8)

スギの雄花が例年より多く付着しており、今年のスギ花粉飛散数が多いでしょう。

極々わずかですがスギ花粉が飛散しているとのことです。2月10日前後が花粉飛散開始日と予想されています。

現在寒暖差アレルギーによると考えられる朝の鼻症状（水様性鼻漏、鼻閉）がよくみられます。

例年通りスギ花粉対策の時期です。予防的にステロイド点鼻、抗アレルギー剤を内服もされるのがよいでしょう。乾燥している鼻、鼻にびらんのある症例にはインタール（クロモグリク酸ナトリウム）点鼻も有効です。

(山口内科耳鼻咽喉科 1/26/2023)